

4年次で能楽鑑賞会 & 東大学食体験を実施！

◆今号の記事は、4年次主任の細井先生が書いてくれました。

6月19日（火）、4年次では、**国立能楽堂**（東京都渋谷区千駄ヶ谷4丁目18-1）にて**能楽鑑賞会**を実施しました。演目は「**能楽の楽しみ**」「**狂言『清水』**」「**能『葵上』**」でした。事前学習として、昨年度3年次に狂言のワークショップを行い、能と狂言の違いや舞台上での動きなどを学びました。能の演目が「葵上」でしたので、4年次の古典の授業で『**源氏物語**』の概要を学習し、能では主役の葵上を演じる役者がいないということを知り、演出上の工夫を楽しみにして鑑賞しました。古語をすべて理解するのはまだ難しかったようですが、「六条御息所の情念が強すぎる」「演じているのは男性なのに、動きが本当の女性のように見える」「舞台に置かれている小袖が葵上だった！」等、生徒たちは**本物の伝統芸能**を目の当たりにし、様々な感想を持っていました。

午後は電車で移動し、**東京大学**（東京都文京区本郷7丁目3-1）にて**学生食堂の利用体験**をしました。早めに着いた生徒は構内を見学し、図書館や講義室で勉学に励む学生を見たり、施設を見学したりと**大学の雰囲気**を味わっていました。中には、**本校の卒業生（3回生）に偶然会った**生徒もあり、大変感激している様子でした。

能楽鑑賞会は、本校の教育目標の一つでもある**国際理解教育の一環**として行われており、日本の伝統芸能に対する**感性**を高めたり、認識を深めたりすることにより、今後の**国際交流の場**でも日本の伝統芸能を紹介できるようになってほしいと思っています。

